

質問

当初予算編成の事業効率化は

町長 個別事業の集約化により実施



北村 千寿 議員

質問 予算編成方針に掲げられた既存事業の効率化の具体的な内容は。

町長 これまで個別事業であった結婚・子育て支援事業、畜産関係事業について集約して効率化をはかった。

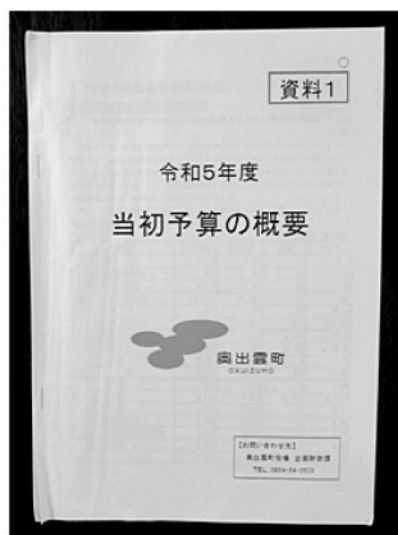
質問 今後の財源確保については。

町長 ①歳出の削減、②町税等の徴収率向

上、③ふるさと応援寄付金等の推進により確保する。

再質問 国や県の補助金を積極的に活用することでも財源確保につながるのではないか。

町長 ご指摘のとおり、今後国や県の補助金をさらに活用して、町民の利益向上と財政負担の軽減をはかる。



事業効率化が求められた当初予算

地域公共交通計画について

質問 アンケート結果やバス乗降時のヒアリングで行うとした高齢者の要望は。

まちづくり産業課長 アンケート結果では、「バス停まで距離があり利用しにくい」、「運転できるまで免許を保有」からバスを利用しないが80%と高かった。

質問 今後のスケジュールは。

まちづくり産業課長 今年度の調査結果を踏まえながら、小学校再編計画や福祉計画との調整、交通事業者とのワーキング、各地区や高齢者の意見を聞きながら策定する。



今後高齢者には欠かせない公共交通

質問 地球温暖化対策に向けた取組は。

町長 町内の二酸化炭素排出量や再生エネルギー導入に係る調査検討を行い、二酸化炭素排出実質ゼロ表明に向け取り組む。

脱炭素宣言と再生可能エネルギーについて

質問 再生エネルギーの代表格であるソーラーパネルと蓄電池を公共施設に設置する考えは。

町長 平成27年に公共施設への設置を検討した結果、荷重から2施設のみ可能であった。新たに設置する施設については

検討する。また、一般家庭用のソーラーパネル導入支援の増額も検討する。

その他の質問

世界農業遺産について